

問1 欲求不満に対する防衛機制のうち、志望校の入試に失敗した受験生が「あの学校は通学に不便だから、不合格になってかえって良かった」と自分に都合の良い理由をつけて納得しようとする心の働きを何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 同一視 2. 知性化 3. 合理化 4. 同一化

問2 人間関係において、私たちは他者の特徴を捉え、それに応じた行動をとることがある。ある人が、相手を「気難しそうな人だ」と判断して慎重に言葉を選ぶ行動と、電車内で目の前に立つ高齢者に席を譲る行動を比較したとき、前者の行動にのみ見られる、相手の内面的な特徴を主観的に推測し、それに基づいて自身の態度や行動を変化させる心理的プロセスを何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 他者の評価に対する過敏さと自己嫌悪 2. 他者の性格に対する推論とかかわり方 3. 他者の期待に対する適応と自己の主張 4. 他者の存在に対する認識と自己の確立

問3 医療現場において、末期患者の激しい苦痛を和らげるために投与する麻薬が、副次的に患者の死期を早めてしまう可能性がある。このとき、医師の目的が苦痛の緩和であり、死期を早めることが意図せぬ副産物であって、苦痛緩和という善い結果が死期を早めるという悪い結果を埋め合わせるほど十分に望ましいとされる場合、この投与行為は道徳的に許容される。このような判断の根拠となる倫理的原則を何というか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 自律尊重原則 2. 二重結果原則 3. 危害回避原則 4. 自己決定原則

問4 現代社会における労働や人間のあり方を考える際、他者を支える営みへの着目が重要視されている。アメリカの心理学者ギリガンは、従来の道徳発達理論が普遍的なルールや権利を重視する男性的な視点に偏っていると批判し、他者との具体的な関係性や、困っている他者への配慮・責任を重視する独自の倫理観を提示した。この、育児や介護などの他者を支える営みとも深く結びつく倫理観を何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 環境の倫理 2. 生命の倫理 3. 正義の倫理 4. ケアの倫理

問5 かつて南アフリカ共和国において、少数の白人が多数の黒人や有色人種を支配する構造を維持するために制度化されていた人種隔離政策である。この政策のもとでは、居住区の分離や参政権の剥奪など、法的な差別が徹底されていた。1990年代に廃止されたものの、長年にわたる歴史的背景から生じた経済的・社会的な不平等の構造は今なお残存しており、その解消に向けた取り組みが続けられている。この政策の名称として最も適当なものはどれか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. セグレーション 2. バンツースタン 3. ホロコースト 4. アパルトヘイト

問6 青年期の発達過程において、独自の価値観や人生観を模索し、精神的な自立を遂げるために、親や年長者、あるいは既存の社会的権威に対して反発や否定的な態度を示す時期を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 第二反抗期 2. 自我同一性 3. 心理的離乳 4. 自己同一性

問7 スイスの精神医学者は、個人の経験を超えて人類に共通して受け継がれている心の領域が存在すると主張した。この領域において、神話や昔話などに共通して現れる、人類共通の象徴的なイメージのパターンのことを何と呼ぶか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 外向 2. 自我 3. 自己 4. 原型

問8 人間が欲求不満や葛藤に直面した際、それによって生じる不安や苦痛から無意識のうちに自らの心を守り、心理的な安定を保とうとする適応メカニズムを何というか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 近道反応 2. 逃避行動 3. 防衛機制 4. 攻撃行動

問9 人間が葛藤や欲求不満に直面した際、無意識のうちに自らの心の安定を保とうとする心の働きを防衛機制という。このうち、自分自身が抱えている他者への嫌悪感や敵意といった受け入れがたい感情を、自分が抱えているのではなく、相手が自分に対して抱いていると思い込むことによって、自己の不快な感情を他者に転嫁する心の働きを何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 補償 2. 投射 3. 逃避 4. 抑圧